



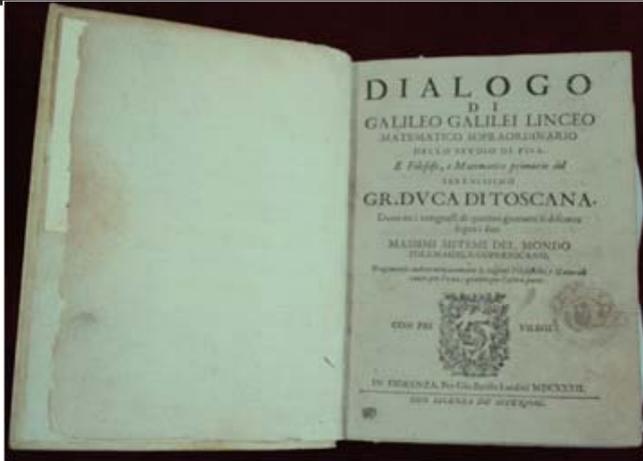
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

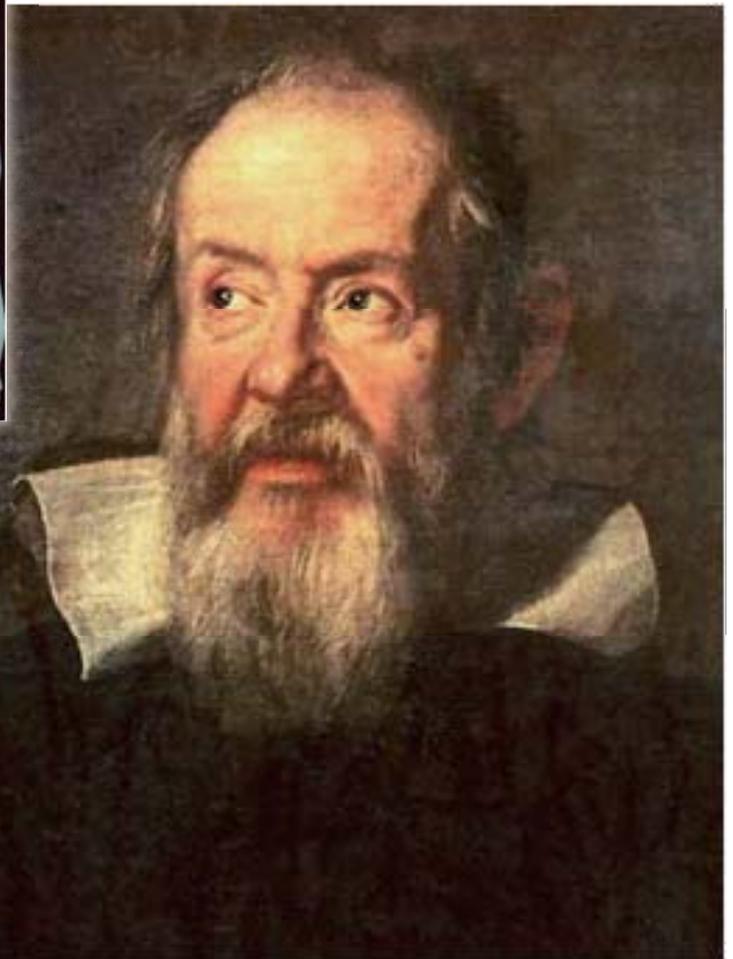
2009. 6 月号

夏期特別展 「ガリオから400年」展

予告



「天文対話」 1632年発刊



ガリレオ・ガリレイ

今年是世界天文年です。これは1609年にイタリアの数学者・哲学者ガリレオガリレイが自作の望遠鏡を宇宙に向け、その様子をはじめて記録した年から400年目ということで制定されました。また、7月22日には日本近海で皆既日食が見られます。その機会をとらえ、ガリレオからはじまる科学的な天体観測とその解釈、天動説から地動説へと世界観が変わる天文学的変遷。望遠鏡の発達をもたらした宇宙像の拡大と宇宙観の変化、ガリ

レオが太陽を観測することから始まる星の物理研究や太陽活動について解説します。

あわせて今年には月着陸から40年目にあたり、月探査の成果や、ロケットの発達で地球から月や宇宙へと活躍の場が広がる宇宙科学など、盛りだくさんの展示を企画しています。

会期：7月18日(土)～9月6日(日)

会場：博物館1階特別展示室

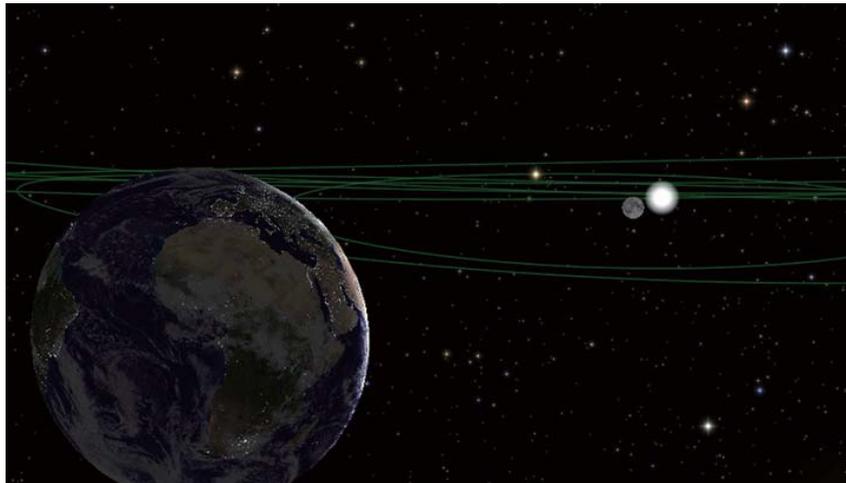
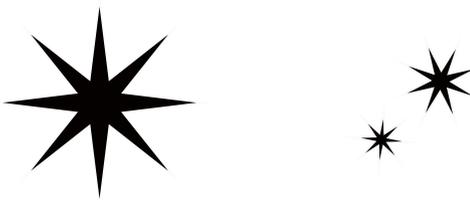
おもな展示

- 天動説から地動説へ
- ガリレオから始まる望遠鏡観測
- 望遠鏡がひろげた宇宙
- ロケット観測からアポロ計画まで
- 探査機でさぐる宇宙
- ガリレオから始まる太陽観測
- 太陽の謎をさぐる

関連事業

- ★ 星を見る会
- ★ 雑貨団シアトリカルプラネタリウム演劇
- ★ アクアマリン エクリプスコンサート
- ★ 科学実験体験教室
- ★ プラネタリウム一般投影
「HAYABUSA- back to the Earth-」
- ★ 寄贈品コーナー 7月22日の日食報告
- ★ 講演会 ガリレオ関連か太陽関連で予定

☆プラネタリウム 6月13日～7月12日 日食～太陽・月・星の動き



7月22日に日本国内では久しぶりとなる皆既日食があります（平塚では部分日食）。

日食は、月が太陽の手前を通過する際に、太陽をかくす現象です。ではなぜ毎月新月のたびに日食が起きないのでしょうか？また土地により欠け具合が異なるのはなぜなのでしょう。

全天シミュレーション映像を駆使して、太陽の動き、月の動き、そして星の動きを解説します。

投影日：土、日曜日午後2時

（所要45分）

●7月18日（土）、19日（日）には、より情報を精選して特別解説「部分日食直前情報」を実施します。平塚での日食のみどころを徹底解説します（午前11時、午後2時、3時実施）。

幼児向け投影

だれがおひさまかくしたの？

6月13日～7月12日

うさぎのミミちゃん、リスのララちゃん、くまのクンクンの3びきが、太陽がかくされたナゾをおいかけます。カメのおじいさんの助けもかりて、宇宙まで飛び出します。

投影日：土、日曜日午前11時（所要45分）

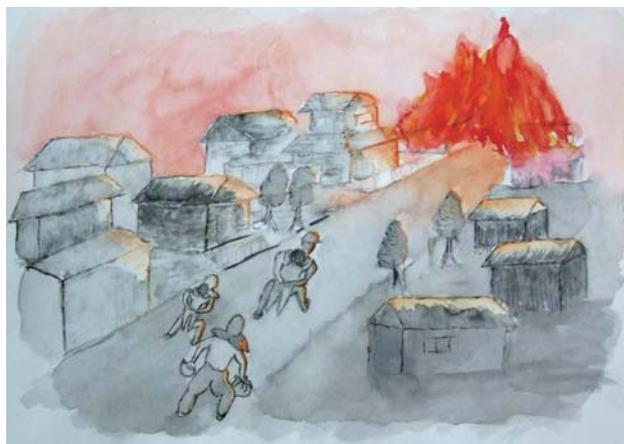
寄贈品コーナー 平塚空襲展

6月13日（土）～7月30日（木）

昭和20年（1945）7月16日はB29約130機による平塚空襲がおこなわれた日です。この空襲では390名以上の方が犠牲になりました。

博物館では「平塚の空襲と戦災を記録する会」において平塚空襲に関する証言や資料を収集しています。しかし、年々、空襲の証言をとることが難しくなり、市民の間でも空襲を知らない方も多く見受けられます。そこで、博物館では毎年7月16日の前後の期間に平塚空襲に関する資料を集めた展示をおこなっています。

今年は、空襲の体験を後世に視覚的に残そうと、体験者の方を対象に空襲の体験を描いた絵を募集しており、今回の空襲展ではその絵を紹介します。空襲体験画の募集は今年12月までおこない、お寄せいただいた絵は博物館の資料として保存するとともに、来年度開催される夏期特別展「市民が探る平塚空襲（仮称）」で展示する予定です。



▲江藤巖「惨めな避難」

油脂焼夷弾で重傷を負った姉を父が背負い、同じく重傷の弟を兄が背負い、母がヤカンいっぱいの水を持って海岸へ避難した。燃える家の炎で行く手をふさがれ、近くの家の庭先を抜けていった。（須賀 第二国民学校（港小学校）前）

たのしかったぁ！！ 博物館こどもフェスタ 2009

5月6日（水）、ゴールデンウィーク最後の日、今年も親子で楽しめるイベント「博物館こどもフェスタ」を開催しました。

雨天にもかかわらず、1,000名を超える方がイベントに参加されました。博物館こどもフェスタの参加者は毎年増えており博物館イベントとして定着してきたように思います。

「おいしく学ぶキッチン火山実験」や「葉脈標本作り」などの新イベントや、博物館で活動するサークルやボランティアの方々のおかげもあって、今年も多くの方が親子で楽しまれていました。来年もどうぞご参加ください。



▲昔のこども遊び「ベーゴマ」



▲地質の日記念 おいしく学ぶーキッチン火山実験



▲葉脈標本のしおり作り

◆◇博物館資料のくん蒸作業

博物館に所蔵する資料は、地域の大切な財産です。それらは現在地域に暮らしておいでの方々だけでなく、子どもたちや孫たちの世代へと引き継いで行かねばなりません。このため収蔵庫には、温湿度管理や特殊な消火設備などが施されています。さらに、大切な資料を虫やカビの害から守るために、必要に応じて「くん蒸」という作業を行なっています。資料に対しては影響の少ない薬剤によって、殺虫殺菌処理をするものです。

本年は、5つの収蔵庫のうち4つの収蔵庫に対してくん蒸を実施します。これにともない、下記の期間を休館させていただきますのでご理解ください。

平塚市博物館が、これからも開かれた博物館として活動を展開して行くには、保存環境との両立が課題になります。みなさまのご協力をいただけますよう、改めてお願い申し上げます。



収蔵庫の中のようす

**6月2日(火)～12日(金)の間、収蔵室くん蒸作業のため休館します。
(入館できません)**

6月2日(火)～6月12日(金) くん蒸作業により休館します		
4	木	展示解説ボランティアの会 野外研修
7	日	地質調査会 野外
		平塚の古代を学ぶ会 野外
11	木	石仏を調べる会 下吉沢
13	土	☆ プラネタリウム 「日食～太陽・月・星の動き～」 ～7月12日 プラネ
		☆ プラネタリウム幼児向け投影一般公開 「誰がおひさまかくしたの」 ～7月12日 プラネ
		☆ 寄贈品コーナー「平塚空襲展」 ～7月30日 寄贈品コーナー
		古代生活実験室 科学室
		地質調査会 特研究室
		天体観察会 屋上・科学室
17	水	民俗探訪会 大磯町
		裏打ちの会 科学室
18	木	展示解説ボランティアの会 特研究室
19	金	古文書講読会 講堂
20	土	お囃子研究会 講堂
		○ 自然教室「葉脈標本を作ろう」 科学室
		星まつりを調べる会 講堂・野外
		地域史研究ゼミ 特研究室
		天体観察会 屋上・科学室
平塚の空襲と戦災を記録する会 特研究室		
21	日	◎ ろばたばなし 相模の家
		地質調査会 野外
25	木	石仏を調べる会 特研究室
26	金	古文書講読会 講堂
27	土	○ 遺跡を歩く会「北金目の遺跡」 野外
28	日	水辺の楽校生きもの調べの会 野外

2	木	展示解説ボランティアの会 特研究室
3	金	古文書講読会 講堂
		天体観察会 屋上・科学室
5	日	地質調査会 科学室
		平塚の古代を学ぶ会 講堂
9	木	石仏を調べる会 上吉沢
10	金	古文書講読会 講堂
11	土	古代生活実験室 科学室
		天体観察会 屋上・科学室
12	日	水辺の楽校生きもの調べの会 野外
15	水	民俗探訪会 二宮町
		裏打ちの会 科学室
16	木	展示解説ボランティアの会 特研究室
17	金	古文書講読会 講堂
18	土	お囃子研究会 講堂
		☆ 夏期特別展「ガリレオから400年」 ～9月6日 特別展示室
		地域史研究ゼミ 特研究室
		天体観察会 屋上・科学室
		平塚の空襲と戦災を記録する会 特研究室
		☆ プラネタリウム特別番組 「部分日食直前情報」 プラネ
19	日	◎ ろばたばなし 相模の家
		相模川の生い立ちを探る会 大磯町
22	水	天体観察会 屋上・科学室
23	木	☆ プラネタリウム「HAYABUSA -back to the EARTH-」 ～8月30日 プラネ
		石仏を調べる会 特研究室
24	金	古文書講読会 講堂
25	土	星まつりを調べる会 科学室
		地質調査会 野外
		天体観察会 屋上・科学室
28	火	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」(子ども向) 科学室
30	木	○ 体験学習「弓矢づくりに挑戦」 科学室
		○ 自然教室「夜の雑木林で生きもの観察」 土屋地区
		○ 自然観察入門講座「貝化石を調べよう」 野外
31	金	科学室

展示とプラネタリウム

- ☆ プラネタリウム「日食～太陽・月・星の動き～」
7月22日に起きる日食を、天体の動きの面から解説します。
投影日：6月13日(土)から7月12日(日)までの
土・日曜日の午後2時
観覧料：100円(中学生以下無料)
- ☆ プラネタリウム「だれがおひさまかくしたの」
幼児団体向けに実施している番組を一般公開します。
投影日：6月13日(土)から7月12日(日)までの
土・日曜日の午前11時
観覧料：100円(中学生以下無料)
- ☆ 寄贈品コーナー「平塚空襲展」
空襲の体験を後世に視覚的に残そうと、体験者の方を対象に空襲の体験を描いた絵を募集しており、今回の空襲展ではその絵を紹介します。
日時：6月13日(土)～7月30日(木)
場所：展示室1F寄贈品コーナー

参加者募集

- 遺跡を歩く会「北金目の遺跡」
真田・金目地区を歩いて遺跡を見学します。
日時：6月27日(土) 午前10時～午後3時
場所：真田・北金目台地周辺
申込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。6月17日必着。
- 自然教室「夜の雑木林で生きもの観察」
夜の林を探検しましょう。
日時：7月30日(木)
午後6時30分～午後8時30分
場所：市内 土屋地区
申込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。7月17日必着。
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴のこと)
定員：20人(多数の場合抽選)

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

あなたと博物館 37巻3号 通算390号 発行 平塚市博物館 2050
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/